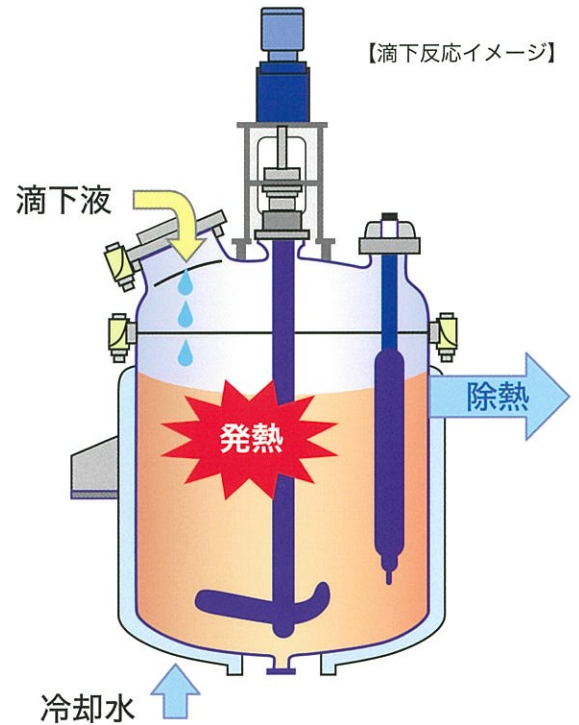


世界初 NEO-GL 高伝熱 GL

(特許取得)

グラスライニングは鉄に比べ熱伝導が悪い為、保温性には優れますが加熱や冷却には時間がかかります。当社では、独自の釉薬配合と焼成技術により熱伝導を向上させたグラスライニングを開発しました。特に発熱反応の滴下工程で、時間がかかるプロセスに最適です。またグラスライニングの熱伝導を向上させているため付帯設備の改造が必要ありません。



製造リードタイムを短縮しコストダウンに貢献

- 昇温・冷却時間の短縮が可能
- 滴下工程での除熱効率向上
- 濃縮工程での時間短縮が可能
- 省エネ、バッチ数増、労務費削減によりコストダウンに貢献

製品品質・収率の向上に貢献

- 反応終了後の除熱時間短縮により副生成物を抑制
- 副生成物の除去作業の負荷低減
- 晶析工程での温度制御性を改善
- 品質の安定化、収率を改善

スケールアップ時の収率向上に貢献

- スケールアップ時のS/V低下による影響を軽減 (S/V：単位容積あたりの伝熱面積)

NEO-GL 特長

	ジャケット内の流体	容器内の流体	総括伝熱係数 (U)	
			NEO-GL	従来GL
加熱	スチーム	水系	400 ~ 500	350 ~ 450
	温水		150 ~ 200	120 ~ 170
冷却	水		130 ~ 180	100 ~ 150
	ブライン		70 ~ 140	50 ~ 120

単位：kcal / m² · h · °C

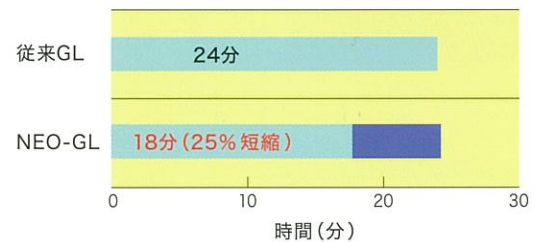
GL 種類	耐薬品性	
	酸	アルカリ
NEO-GL	1.0	1.0
従来GL	1.0	1.0

注1：従来GLの耐薬品性を1.0とした場合の相対値を示します。

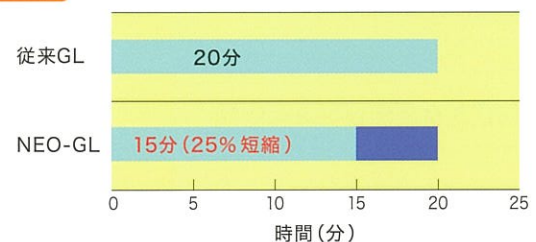
注2：参考値であり保証値ではありません。

NEO-GL 実験データ

冷却 【内缶 水温 80 °C → 50 °C 所要時間】 外缶：水道水



加熱 【内缶 水温 50 °C → 80 °C 所要時間】 外缶：スチーム



個別ご使用条件でのシミュレーションも可能となっておりますのでご用命ください。